

市町村名	伊江村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	伊江村ハブ対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域特性に応じた生活基盤の整備 Ⅲ-12	
事業内容	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,600	5,600	5,600	6,000	6,000
		(b) 予算現額	4,320	4,925	5,078	5,079	5,599
		(c) 増減額(b-a)	▲1,280	▲675	▲522	▲921	▲401
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		4,320	4,925	5,078	5,079	5,599
	B. 執行済額		4,320	4,925	5,078	5,079	5,599
	うち交付金充当額		3,456	3,939	4,062	4,063	4,479
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な執行を行った。入札残により401千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	ハブ生息地の清掃実施(26,000㎡清掃)	目標	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	
		実績	清掃完了	清掃完了	清掃完了	清掃完了	
	捕獲器の設置(15基設置)	目標	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	
		実績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了	
巡回管理(週1回)	目標	(巡回管理)	(巡回管理)	(巡回管理)	(巡回管理)		
	実績	巡回管理実施	巡回管理実施	巡回管理実施	巡回管理実施		
達成状況説明	・ハブの生息地の清掃を行うことにより、観光地の広範囲で安全対策に繋がった。 ・令和2年度において本事業のハブ捕獲器設置によるハブ捕獲実績は3匹であった。 引き続き、区長会や村民によるハブ目撃情報の収集を行い委託業者と情報を共有し捕獲実績を上げたい。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	ハブ咬傷による被害件数0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		1件	0件	0件	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・平成28年度においては、ハブ咬傷被害件数は0件で成果目標を達成しているが、平成29年度、30年度、令和元年度において(いずれも本事業実施期間中)各1件ずつハブによる咬傷被害が発生していましたが、令和2年度から令和3年度まで2年連続でハブ咬傷被害件数は0件と成果目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・これまでの清掃業務は除草作業が主で実施していたが、樹木の剪定、枝打ちなどを行ったことで、フェンス外からハブの侵入を阻止できたものと思われるが、隣接する別の敷地の草木が繁茂して来ており、ハブの侵入や住処にならないか懸念している。</p>	<p>・捕獲の事業実施期間は150日(5か月)があるが、ハブは冬眠しないため実施期間の延長や捕獲器の数を増やすなどで捕獲数を上げられないか検討したい。</p> <p>・ハブ目撃現場付近の清掃及び除草作業を呼びかけ又は実施し、ハブの住処を排除する。</p>

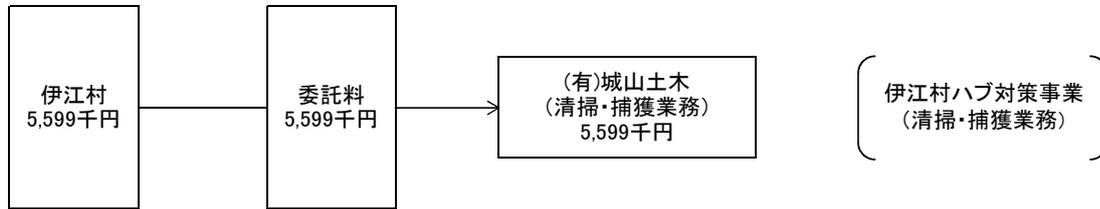
今後の取り組み方針

・青少年旅行村においては多くの観光客や村民が利用する場所であることから、管理委託業者や隣接する地主と連携を密にし清掃・捕獲の効率化と安全対策を図っていく。

・別タイプのハブ捕獲器や生餌も試験的に設置し捕獲率の向上を図りたい。捕獲業務においては、目撃情報を主に新規設置場所の検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,599	5,599	4,479	1,120	0



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法として村の格付(本村)土木B業者を抽出し入札を執行していることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計書をもとに予定価格を設定し執行していることから妥当であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○業務後の検査において、書面及び現場確認検査を実施し、適正に事業を執行していると判断されたことから、事業目的に即した費目及び使途であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	自動車航送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	公営企業課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 Ⅲ-9	
事業内容	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、経済的な不利性をもたらす割高な交通運賃は、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送コスト負担軽減事業について往復1台あたり820円の支援を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		14,580	14,013	14,175	15,170	15,170
			14,215	14,923	15,866	14,595	14,666
			▲ 365	910	1,691	▲ 575	▲ 504
			-	-	-	-	-
		14,215	14,923	15,866	14,595	14,666	
	B. 執行済額 うち交付金充当額		14,143	14,923	15,866	14,462	14,581
			11,314	11,938	12,692	11,569	11,664
		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		99.5%	100.0%	100.0%	99.1%	99.4%
予算の状況の説明	当初18,500台程度の補助を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による利用者の減少により、588千円の減額補正となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	目標	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
達成状況説明	目標	()	()	()	()		
	実績						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		100%	100%	100%	
進捗状況説明	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
本事業へのアンケート調査を行った結果、移動しやすい環境になったかの問いに「とても実感している」、「やや実感している」との回答が80%以上となっている。また、今後も継続してほしいとの回答が100%となっており、住民への負担軽減が定住条件の改善や住みよい村づくりへ繋がっているものとする。							

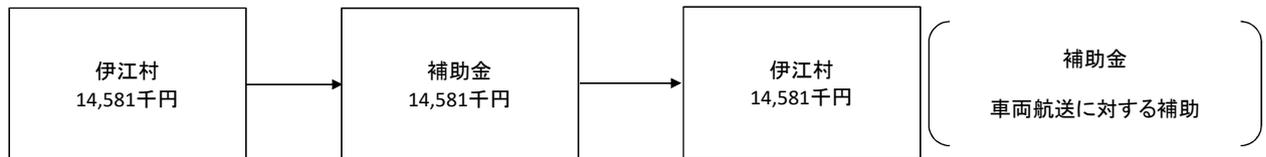
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・航空申込書不用なQRコード付き離島住民割引カードの利用有効期限が切れており、航空チケット購入時に正規の価格で購入せざる負えない危険性がある。 ・予約車両の航送について、航送の30分前には所定の場所で待機するよう村HPで周知を図っているが、未だ駆け込み乗船が見受けられるため、満車時にはトラブルの危険性が生じる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用有効期限更新の申請方法や申請時期などの周知を定期的に行う必要がある。 ・車両航送に係る留意事項について、村HPだけではなく、村内防災無線や公式SNS等を活用し村民や観光客への周知徹底を図る必要がある。

今後の取り組み方針

・引き続き村ホームページ及び広報誌、村内防災無線等により当該事業の継続実施や、離島住民割引カードの新規、更新申請方法について、地域住民へ周知するとともに、本島へ移動しやすい環境の構築を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
14,581	14,581	11,664	2,917	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は唯一の航路事業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、減額補正があったものの概ね妥当である。 ○費目・用途については予定通りであり、実績報告・検査を実施したところ、目的に即し適正なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村				
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-①	村花・世界のゆり植栽推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ体制整備	
事業内容	良質なゆりの球根を購入し、村花であるつぼゆりと多彩な世界のゆり球根を確保し植栽することで、「夕日とロマンのフラワーアイランド」を推進し、花の島づくりによる景観形成を図り、地域活性化と観光振興を図ることができる。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	3,000	3,000	3,000	4,000
	(b) 予算現額	2,874	2,998	2,713	3,652	4,000
	(c) 増減額(b-a)	▲126	▲2	▲287	▲348	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	2,874	2,998	2,713	3,652	4,000
	B. 執行済額	2,874	2,998	2,713	3,652	3,960
	うち交付金充当額	2,299	2,398	2,713	2,921	3,168
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%
予算の状況の説明	予算の範囲内で適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	ゆりの球根購入・植栽 テッポウユリ 55,000球 世界のゆり 35,000球	目標	リリーフィールド公園へ植栽 50,000球	ユリの球根購入・植栽 70,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球
		実績	リリーフィールド公園へ植栽 33,691球	ユリの球根購入・植栽 70,191球	ユリの球根購入・植栽 82,250球	ユリの球根購入・植栽 90,000球
	目標	()	()	()	()	
実績						
達成状況説明	・テッポウユリ球根55,000球、世界のゆり球根35,000球を購入し、ゆり祭り会場であるリリーフィールド公園及び観光地並び沿道等へ植栽した。花は順調に開花したが、新型コロナウイルス感染症防止対策により令和3年度「第25回伊江島ゆり祭り」はやむを得ず2年連続の中止となった。ゆり祭りは中止となったが、村民への観賞機会を設け、観光施設及び公共施設等へ装飾を行い景観向上を図った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(28年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(令和5年度)
		第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R3年 33,000人	目標 (33,000人)	(29,000人)	(33,000人)	(33,000人)
	実績		36,000人	祭り中止 実績なし	祭り中止 実績なし	
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	・第25回伊江島ゆり祭りは、新型コロナウイルス感染症対策防止により中止となった。つぼゆりや世界のゆり球根については、中止の判断が下される前に購入及び植栽を行っていたため、花は順調に開花した。村民への観賞機会を設け、観光施設及び公共施設等へ装飾を行い景観向上を図った。					

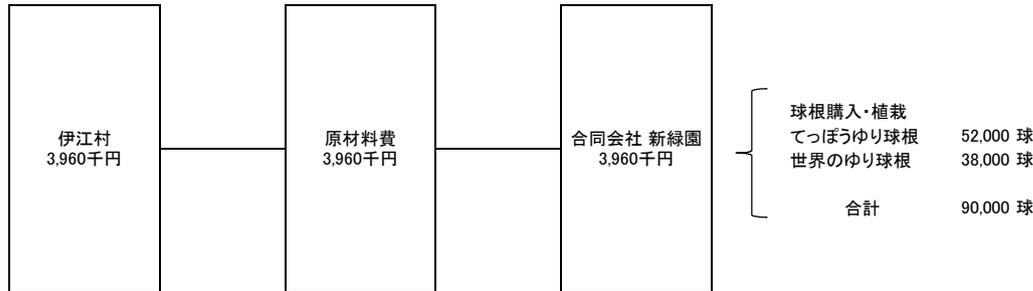
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・植え付け時期等、品種によって異なるため、購入時期を慎重に検討していくことが必要である。 ・古い球根や、前回の球根の植栽においては疫病にかかりやすく他の球根まで影響する事から、今後も新たな球根の購入をしていく事が必要である。 ・観光客は新品種や珍しい品種を觀賞する事を楽しみにされている方が多い事から、ニーズに応えられるよう品種選定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入球根の保管方法や疫病予防の消毒等、受注業者と調整を図り計画的に遂行する。 ・今後も引き続き新品種の導入に向けた球根選定を行い、継続して観光誘客の向上に繋げる取り組みを行う。

今後の取り組み方針

- ・球根の種類により、植え付け時期や開花予定の日が異なるため、開花予定日数を逆算し植付の計画を立てる。
- ・球根の購入時期については発注計画を立て導入したい球根の在庫不足にならないように早めに実施する。
- ・購入したい品種の選定、数量を早めに決定する。
- ・継続して新品種を導入することで、ゆり祭りの魅力を更に向上させ観光誘客に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,960	3,960	3,168	792	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託した業者は、てっぽうゆり及び世界のゆり球根を生産・調達できる村内唯一の業者となっているため妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数の見積書を徴収し予算を決定しているため適正な規模であると考え。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業目標達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-②	観光地クリーン事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年~令和3年		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ体制整備		
事業内容	魅力的な観光地として景観形成及び観光客数の維持・増加を図る為、観光地の美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a) 当初予算額	21,000	20,100	20,800	51,700	54,000	
	(b) 予算現額	19,846	17,881	20,731	51,700	52,690		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,154	▲ 2,219	▲ 69	0	▲ 1,310		
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	19,846	17,881	20,731	51,700	52,690		
	B. 執行済額	19,846	17,737	20,731	51,700	52,690		
	うち交付金充当額	15,877	14,189	16,584	41,360	42,152		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	当初予算額より1,310千円の減額については、入札執行に伴う減額です。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	観光地環境美化保全【主な美化保全観光施設】 リリーフィールド公園、伊江村青少年旅行村、城山、ミースイ公園、ニヤティヤ洞、湧出展望台、港ターミナル周辺		目標	()	(3か所)	(8か所)	(7か所)	
			実績		3か所	8か所	7か所	
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	今年度も引き続き伊江村の観光地等における美化作業及び緑化木管理等を民間事業者へ委託業務を行った。昨年度の課題であった効率化も定期的に管理を行うことが出来たため、安定した景観向上に寄与することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(28年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(令和5年度)	
	魅力的な観光地として景観形成が図れたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標	(70%)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
			実績		100%	100%	100%	
			目標	()	()	()	()	()
		実績						
進捗状況説明	観光客に対して、アンケート調査を実施した結果、景観形成が図られたとの回答が100%であり、目標値の80%以上を達成することができた。							

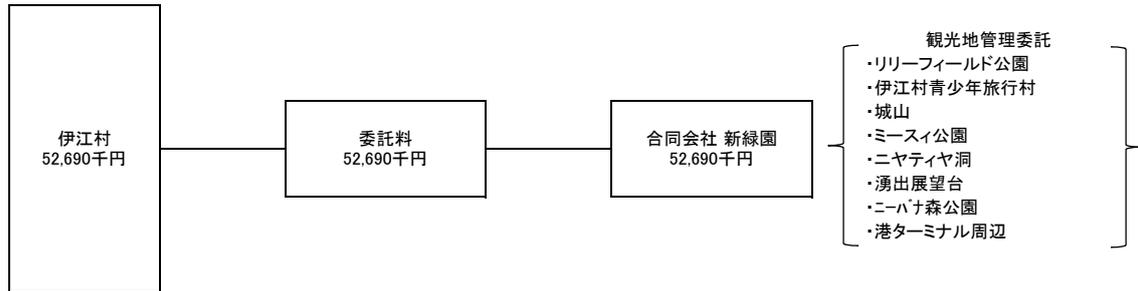
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・草の伸びる時期や剪定の時期などがあるため、適宜現場を確認し業務遂行する必要がある。 ・発注スケジュールを計画的に遂行する。 ・取り組み実績を把握するため、適宜現場での立ち合い、写真管理等により現場状況をしっかりと把握する必要がある。 ・機械化により効率が良くなる半面、安全管理を徹底し事故の無い安全な現場管理に努めるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化の導入により効率化が図れることから、受注業者と遂行方法及びスケジュールの確認を密に行う。 ・台風等の災害が起こった場合は、復旧における業務の範囲を事前に確認し、効率よく復旧作業に取り組める準備をしておく。 ・機械化による安全管理の徹底を促し、事故の無い業務執行に努める。

今後の取り組み方針

・委託業務により、業務を遂行するため、適宜に現場確認や状況確認を行う。
 ・観光地美化による作業日程管理、作業個所の優先順位や方法等、最適な作業効率化を図り、観光地として景観向上に引き続き取り組む。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付対象		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
52,690	52,690	42,152	10,538	0



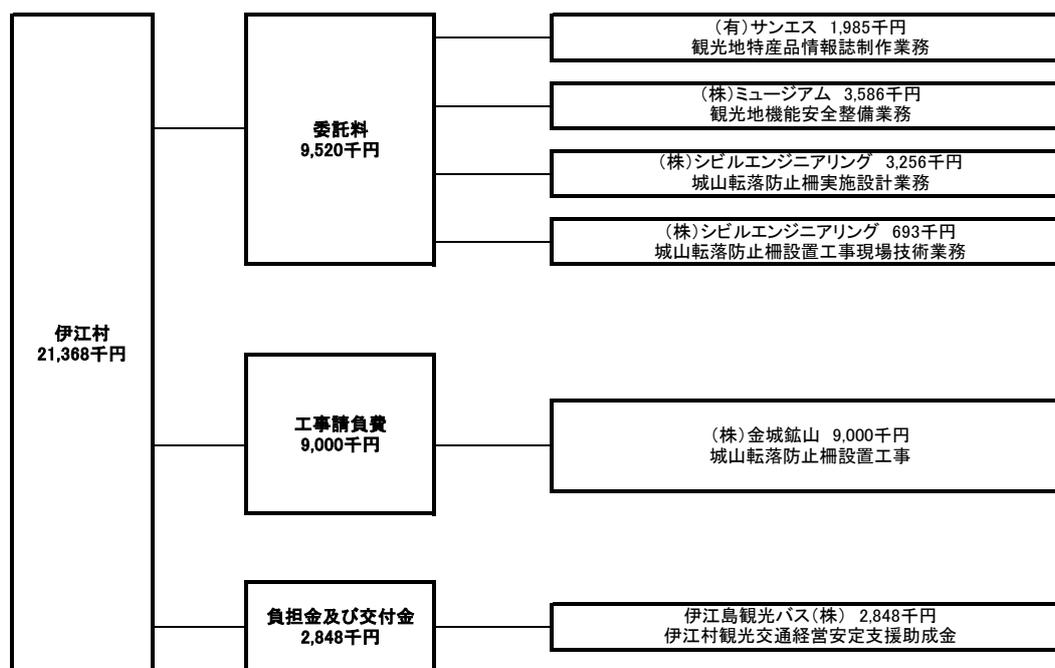
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、プロポーザルにより業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については事業目標達成の観点から必要なものか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-③		観光誘客整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
	担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成26年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備	
事業内容		伊江村の観光振興を図るため、城山転落防止柵設置工事、観光地機能安全整備業務、その他イベント等による観光誘客を行う。					Ⅲ-1-(1)	
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a)当初予算額	94,450	105,000	125,984	49,298	30,895	
	(b)予算現額	96,071	100,505	78,913	47,114	22,371		
	(c)増減額(b-a)	1,621	▲4,495	▲47,071	▲2,184	▲8,524		
	(d)繰越額							
	A.計(b+d)	96,071	100,505	78,913	47,114	22,371		
	B.執行済額	96,071	100,505	78,913	47,114	21,368		
	うち交付金充当額	76,857	80,403	63,130	37,690	17,094		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.5%		
予算の状況の説明	当初予算額より9,527千円は、入札残や実績による減額や事業取り下げ等での減額。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
	城山転落防止柵の設置	目標	()	()	()	()	(城山転落防止柵の設置)	
		実績					設置完了	
	観光地機能安全整備業務の実施	目標	()	()	()	()	(ハブクラゲネットの購入)	
		実績					購入完了	
	観光交通経営安定化支援事業の実施	目標	()	()	()	()	(タクシーへの助成)	
		実績					実績に合わせ助成完了	
	観光客特産品情報誌制作業務の実施	目標	()	()	()	()	(特産品ガイドブックの制作)	
		実績					制作完了	
	達成状況説明	城山転落防止柵の設置工事やハブクラゲネットの購入など観光地の安全性向上を図る事業を行った。 また、伊江村内のタクシー業者に関しては、観光には欠かせない交通手段として助成を行うことで観光誘客へ繋げた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	①青少年旅行村来場者数 R3:28,000人	目標	()	()	(30,000人)	(28,000人)	()	
		実績				4,600人	5,230人	
	②本事業について、観光客へアンケート調査を実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)	()
		実績					100%	
	進捗状況説明	①青少年旅行村の来場者数はR3年度28,000人を目標値としていたが、コロナウイルスの影響による観光客の減少により目標値を大幅に下回る結果となった。 ②観光客等へのアンケートを実施し、利便性(満足度)が確保されているというアンケート結果となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地の更なる機能向上を図り、更なる観光誘客に繋げるための取り組みを行う。 ・今年度は、コロナの影響でイベントに参加することができなかった為、コロナ対策を講じた上でイベント参加を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊江村の更なる観光誘客を図るため、観光地の機能向上や施設整備などに取り組んでいく必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び有識者の意見を踏まえながら、今後も観光施設の機能強化を図り、更なる観光客の受入体制を強化することで、伊江村の観光振興の向上に繋げる。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,368	21,368	17,094	4,274	

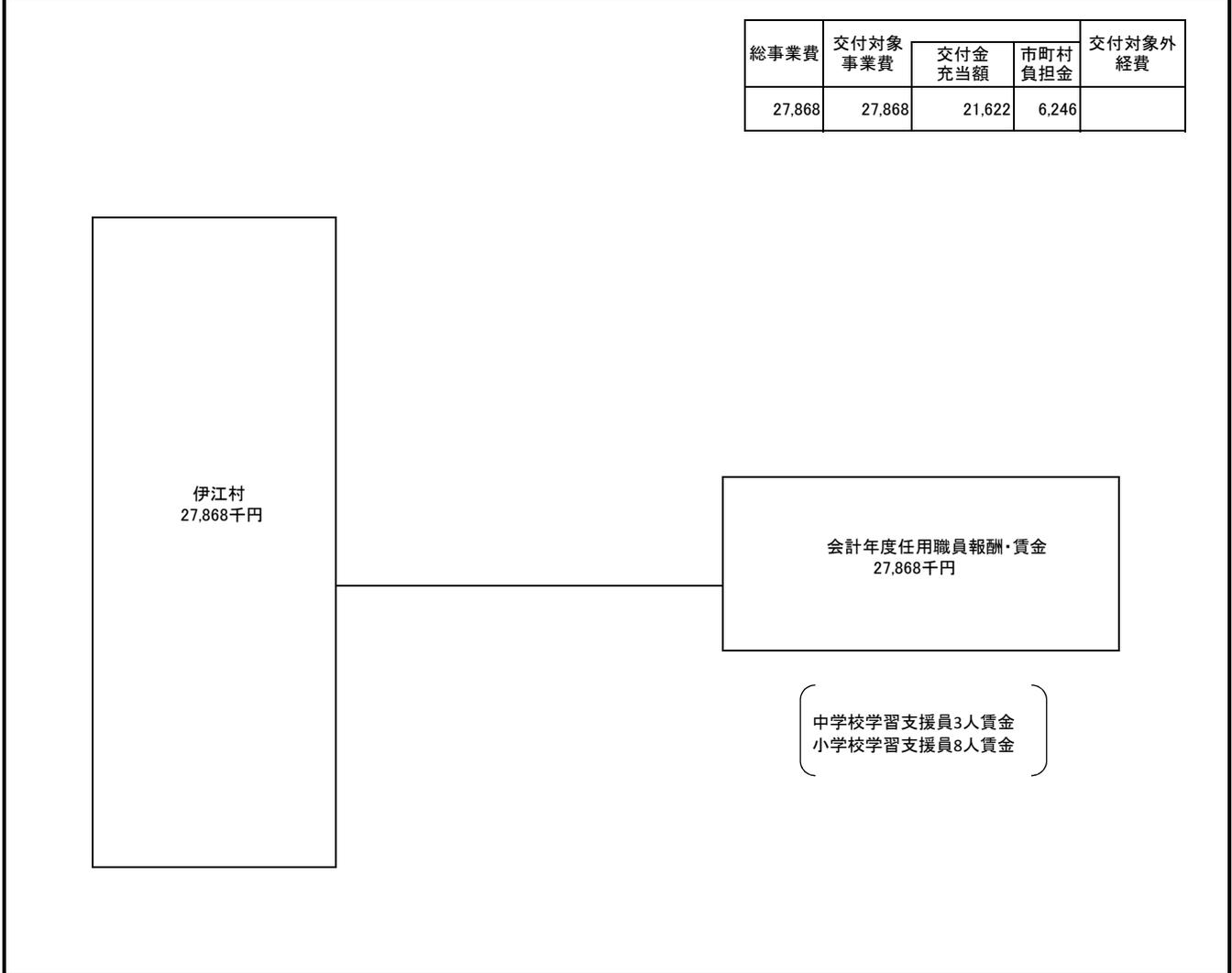


資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定は一般競争入札より選定しており、妥当であったと考える
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・入札残は減額し、不要額もないことから予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用、用途については事業目的達成の観点から必要のものなのか等について額の確定時に支出に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 確かな学力を育む学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
	担当部課名	伊江村教育委員会教育行政課		事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充
事業内容		小中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身に付けさせるための学習支援員の配置、更には発達障害など様々な障害がある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立していくための土台づくりを行う。					Ⅲ-3-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	20,304	15,876	15,876	22,134	28,750
	(b) 予算現額	16,143	14,828	13,940	27,077	28,750	
	(c) 増減額(b-a)	▲4,161	▲1,048	▲1,936	4,943	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	16,143	14,828	13,940	27,077	28,750	
	B. 執行済額	16,143	14,828	13,940	27,077	27,027	
	うち交付金充当額	12,914	11,862	11,151	21,661	21,622	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.0%	
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な事業執行ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	小学校(2校8人配置)	目標	(2校6名)	(2校6名)	(2校6名)	(2校8名)	
		実績	2校8名	2校7名	2校8名	2校8名	
	中学校(1校3人配置)	目標	(1校3名)	(1校3名)	(1校3名)	(1校3名)	
実績		1校3名	1校3名	1校4名	1校3名		
達成状況説明	学習支援員配置については、小学校に8名、中学校に3名の学習支援員を配置し目標を達成することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	小学校、中学校ともに沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る	目標	()	県平均正答率との差、小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差、小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差、小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	()
		実績	県平均正答率との差 ○小学校3年 国語+3.3 算数-3.3 ○小学校4年 算数+3.6 ○小学校5年 国語-1.3 算数-0.1 理科-3.9 ○小学校6年 算数-15.8 ○中学校1年 数学+3.6 ○中学校2年 国語-2.9 社会+3.0 数学+4.6 理科-0.3	県平均正答率との差 ○小学校3年 国語+3.3 算数-3.3 ○小学校4年 算数+3.6 ○小学校5年 国語-1.3 算数-0.1 理科-3.9 ○小学校6年 算数-15.8 ○中学校1年 数学+3.6 ○中学校2年 国語-2.9 社会+3.0 数学+4.6 理科-0.3	県平均正答率との差 ○小学校3年 国語-4.8 算数-1.8 ○小学校6年 国語-4.1 算数+1.6 ○中学校1年 国語-7 数学-13.4 英語-7.8 ○中学校2年 国語+7.2 英語+6.0	県平均正答率との差 ○小学校3年 国語-8 算数-11 ○小学校6年 国語-10 算数-7.9 ○中学校1年 国語-3.3 数学+12.5 英語+10.7 ○中学校2年 国語+1.0 英語+1.4	()
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和2年度に引き続き、令和3年度においても、小学校3年生・4年生については新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。令和3年度において、改善がみられた教科は中学校1年の数学+12.5、英語+10.7。中学校2年国語+9、英語+3.1となった。他の教科においても県平均に近く改善が大幅にみられた。しかし、小学校5年・6年共に県平均よりも-10低い教科もあり、児童生徒の実態を把握した今後の授業改善を行う必要がある。また、個別に支援すべき児童生徒への支援体制においても、担任のみでの支援ではなく、より村学習支援員との連携を図り個別支援の構築を目指す必要がある。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>達成できなかった要因 (小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校全ての教科で県平均を下回る結果になった。しかし各学校ごとにみてみると県平均と近い結果となった学年もあり、その学級(児童)の実態にあった学習支援が必要である。また、「なぜ学習するのか」等学ぶ意義を早い段階で学ぶ機会を作る必要がある。 <p>(中学校)</p> <p>中学校においては、1年生国語-3.3、2年生数学-8と県平均を下回る結果になった。教科によって苦手意識を抱えている生徒の存在があり、より丁寧な支援体制の構築が必要である。そのために各教科担任が生徒の実態を把握し、教科間及び学年間での情報の共有や支援体制について協議を重ね、支援を行うことが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担任・教科担任の授業改善が進み、各学校における校内研修の充実が特に中学校において数値として表れている。小学校においても数値的には県平均を下回ったが、学ぶ意欲の向上や個別支援の充実を行うことで課題解決を行うことができるであろう。また、担任・教科担任だけでなく学習支援員による、きめ細かな学習支援を行うことで、困り感を感じている児童生徒に対しての学習意欲向上につなげる必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催している、村主催の「学習支援教諭研修会」において、「困り感」のある児童生徒へのアプローチや学習支援の仕方について、先行事例や各学校での成功体験、学習支援の具体的な方法を共有し、支援教諭同士の横のつながりを重視した研修会を行っていく。 ・学習支援教諭と担任や教科担当との連携を重視し、児童生徒の学習状況の進捗や児童生徒の学習意欲の情報の共有を常日頃から行うことで、教職員同士の共通理解の元、学習を進めることができるであろう。今後も学習支援教諭の安定的な人材の確保に努め、管理職との連携を図り、継続的な研修会の機会を設け、児童生徒への学習意欲の向上及び、学習支援へとつなげていきたい。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、伊江村賃金職員雇用管理規則等に基づき、有資格者等を適正に選定、任用しており妥当なものと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○すべての学校において、目標数の支援員を配置することができ、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	4-②	各種大会派遣費助成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部署名	伊江村教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	3700	3,700	4,400	4,400	4,000
		4094	2,043	3,918	705	2,200
		394	▲ 1,657	▲ 482	▲ 3,695	▲ 1,800
		-	-	-	-	-
	4,094	2,043	3,918	705	2,200	
	4094	2,043	3,918	705	2,041	
	3275	1205	3,134	564	1,632	
	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.8%	
予算の状況の説明	昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い大会の中止や、出場自粛により1,800千円の減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	各種大会派遣費の助成:1,550人	目標 (派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	
		実績 助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	
	目標 ()	()	()	()		
	実績					
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、地区大会など県内大会への派遣活動となった。例年よりも大会数が減り、限られたチャンスの中で児童生徒の技術力向上とともに、スポーツ面のみならず文化活動でも活躍した。 村外派遣 伊江中学校 394名、スポーツ少年団 823名					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績	88.60%	89.60%	90.30%	
	【参考指標】 R3年度末時点:約1,550人	目標 ()	(1,000人)	(1,550人)	(1,550人)	()
	実績	2,139人	662人			
進捗状況説明	保護者へのアンケートにおいて「児童生徒が広い視野を持つことができたか」の質問に対して、「思う」、「そう思う」と答えた方が90.3%であった。このことから、技術力・競技力の向上や交流の機会をもつことで、村外の児童生徒に対しても臆することなく交流ができた、村内の児童生徒の視野が広がった。					

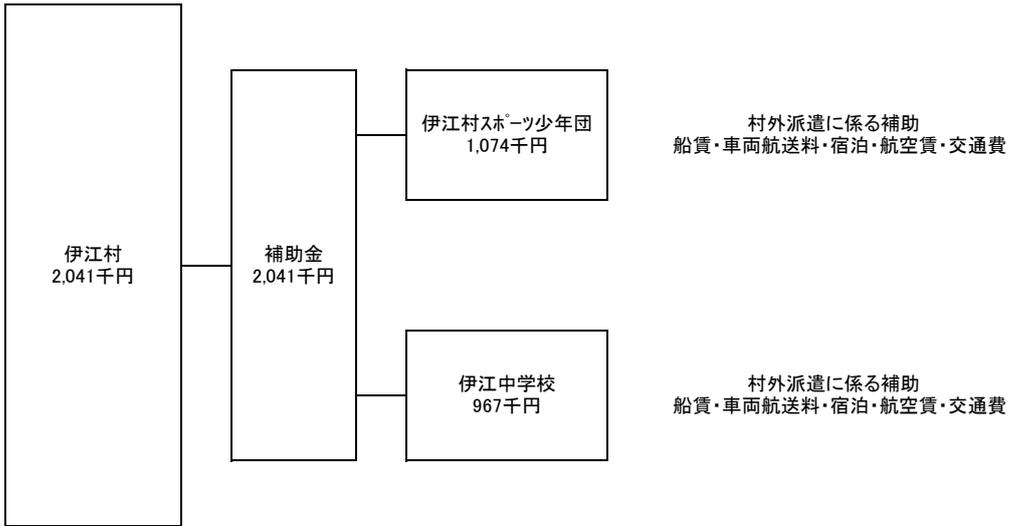
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、例年よりも大会数が減り派遣人数の当初目標を下回る結果となった。しかし、村外の児童生徒との交流は、限られたチャンスの中でも村内の児童生徒が広い視野を持つことで、技術力・競技力の向上が図られた。</p>	<p>・各種競技の申請者(中学校教員・スポーツ少年団会計担当)を集め、本事業に係る説明会を引き続き行う。対象経費に関する書類の管理や保管を共通理解を持つ。また、社会的環境においてキャッシュレス(カード払い)での精算は、本村では対象外経費として扱っているため引き続き周知する。</p>

今後の取り組み方針

・各種競技の申請者は、毎年度変わるため事務手続きの注意事項や本事業に係る説明会を引き続き年度始めに行う。
 ・児童生徒の広い視野を持つことができたどうかの検証について、引き続き保護者アンケートで実施する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,041	2,041	1,632	409	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○[伊江村児童生徒等の大会派遣等に関する補助金交付要綱]に照らし合せ、補助対象者を適正に選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○助成対象者を適正に選定していることもあり、執行率は100%であるため、予算規模は適正であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金交付要綱に基づき受益者負担を行っており妥当であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○交付額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。

市町村名		伊江村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	伊江村型就業意識向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-カ		
	教育委員会 生涯学習課		事業実施(予定)年度	平成28年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄県産業・雇用拡大県民運動(みんなでグッジョブ運動)の推進	
担当部課名					Ⅲ-1-(2)		
事業内容	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングや職業人講話等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	5,125	5,794	5,800	5,850	5,849
	(b) 予算現額	5,064	5,676	5,800	5,234	5,849	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 61	▲ 118	0	▲ 616	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	5,064	5,676	5,800	5,234	5,849	
	B. 執行済額	5064	5676	5800	5234	5849	
	うち交付金充当額	4054	4100	4640	4,187	4,678	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初計画通り実施することができた					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	企業訪問・体験1回	目標	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	
		実績	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	
	職業人講話4回	目標	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	
		実績	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	
	卒業生による進路講話1回	目標	(進路講話開催)	(進路講話開催)	(進路講話開催)	(講話の開催)	
		実績	進路講話の開催実施	進路講話の開催実施	進路講話の開催実施	未実施	
	キャリア教育プログラム(ワークショップ)	目標	()	()	()	(ワークショップの開催)	
		実績				ワークショップの開催実施	
島のみりよく発見隊1回	目標	(みりよく発信)	(みりよく発信)	(みりよく発信)	(みりよく発信)		
	実績	みりよく発信の実施	みりよく発信の実施	みりよく発信の実施	みりよく発信の実施		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 小学生では事前学習から企業訪問、事後学習及び発表会を行い、村内の職業について深く知る機会となった。 中学校ではワークショップ形式のキャリア教育プログラムを実施した。 学校推薦により選ばれた小・中学生が、ICT技術を活用し、子供たち目線での「伊江村の魅力」について調べ動画撮影・編集・発表・SNSへの掲載まで行い、全世界に向けて伊江村の魅力を発信した。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業へのあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		98%	95%	97%	
	【参考指標】	目標	()	(95%)	(95%)	(95%)	()
	企業訪問・体験(小学生)6年生95%	実績		97%	90%	97%	
	【参考指標】	目標	()	(90%)	(90%)	(90%)	()
	職業人講話 90%	実績		98%	97%	97%	
	【参考指標】	目標	()	(90%)	(90%)	()	()
	卒業生による進路講話 90%	実績		95%	94%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	(90%)	()
キャリア教育プログラム(ワークショップ)90%	実績				97%		
【参考指標】	目標	()	(90%)	(90%)	(90%)	()	
島のみりよく発見隊(中学生)90%	実績		100%	100%	100%		
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に事前・事後学習の時間を用い、村内の事業所へ訪問・体験することで小学校学習指導要領で謳われている「探求型学習」へ繋げるとともに村内の職業について学ぶことができた。 中学生を対象にワークショップ形式のキャリア教育プログラムを実施する中で、アイデアの深堀やディスカッションを多く行い、思考力やコミュニケーション力など島建ち後にも必要なスキルの育成、地震の施行・意見を他者に伝える大切さの意識付けにつながった。 みりよく発信に関しては、児童生徒自ら伊江村の魅力を調査し、ICT技術を活用した取り組みを行なった。それにより全世界へ魅力の発信やGIGAスクール構想へと繋げることができた。 					

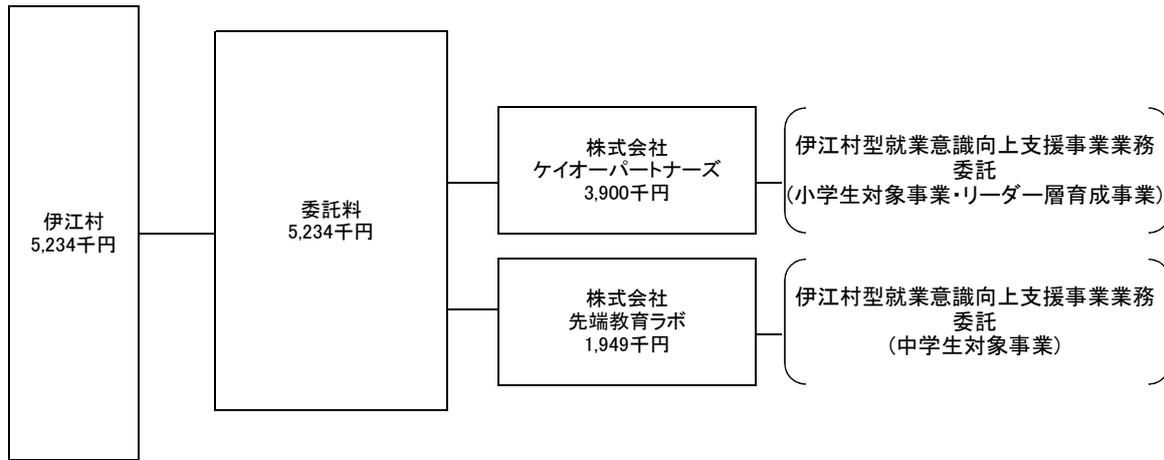
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 小学生のキャリア教育については、村内にて「探求型学習」をテーマとした取り組みを行った。 中学生において、ワークショップ形式のキャリア教育プログラムを実施したことにより、15の島建ちにむけたスキルや意識の醸成を図ることができた。 成果目標達成について、委託事業者・教育委員会・学校において十分に連携し、事業を実施できたことが要因と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢を考慮しながらも、村外・県外での活動も視野に入れることで、「伊江村以外の仕事」についても児童生徒たちの進路の幅を広げることにつながる。 コロナ過においても事業を実施出来るよう、職業人講話などはZoomを活用したりリモートでの開催などを検討することで、村外講師による講話なども見込めるため、様々な職種の人選を行なうことができ、就業意識向上につながる。

今後の取り組み方針

・同事業を継続して行っていくことで、村内の児童・生徒に対する就業意識向上に繋げ、将来の本村を担う人材育成を図る。
 ・ICT技術を活用した事業の実施、GIGAスクール構想との繋がりがりや、コロナ過でのキャリア教育につなげる取り組みを築いていく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,849	5,849	4,678	1,171	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先についてはプロポーザルにより業者を選定しており、妥当である。 ○予算規模は、全ての事業を執行しており、適正である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-1	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-(ア)		
担当部署名	福祉課	事業実施(予定)年度	R2年度～R3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	本村の遺跡や記念碑等を用いた効果的な平和学習が行えるよう、安心安全な施設環境を確保することで、後世へ歴史を伝える地として、平和学習の促進を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,000	13,000			
		(b) 予算現額	4,686	13,700			
		(c) 増減額(b-a)	1,686	700	0	0	0
		(d) 繰越額	-	0			
	A. 計(b+d)		4,686	13,700	0	0	0
	B. 執行済額		4,686	13,465			
	うち交付金充当額		3,748	10,772			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	98.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初の計画書通り予算を適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	実施設計及び分筆業務	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	完了				
	VRコンテンツ制作業務	目標	(実施)	()	()	()	
実績		完了					
達成状況説明	令和2年度で基本計画し、令和3年度で実施設計及び分筆業務(一部)、VRコンテンツ制作業務等を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(6年度)
	実施設計・VRコンテンツ制作業務・分筆業務	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【参考指標】施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	()	(80%)	()
		実績				実施予定	
進捗状況説明	今年度は整備予定地の実施設計、一部分筆業務や説明版に必要なVRコンテンツ等の業務を行った。						

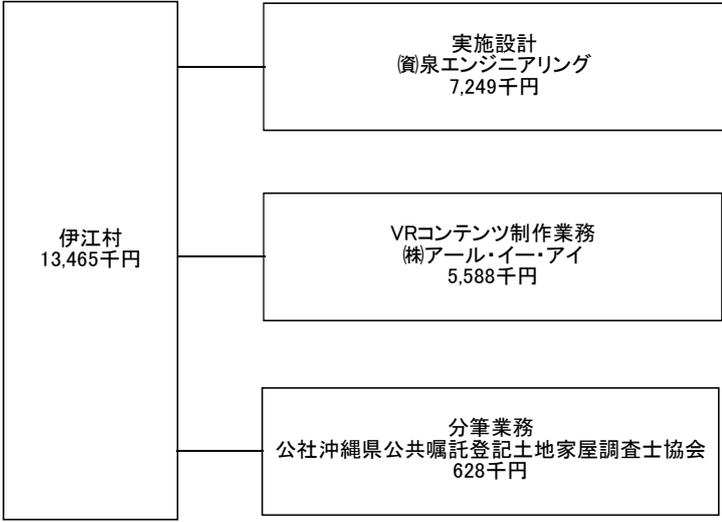
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は実施設計やVRコンテンツ制作等を実施し、令和4年度については、実施設計を元に工事・用地買収を行う。 整備後においては、平和学習等での活用方法について課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業完了後の戦跡巡りのルート検討、平和学習等後世へ伝えるための取り組み方法

今後の取り組み方針

・令和4年度については、工事・用地買収を行い、令和5年度までに完了する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
13,465	13,465	10,772	2,693	0.1



資金の用途の点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札2件、随意契約1件(分筆業務)を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、目的に即した事業内容で実施されていることから、適正であると考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

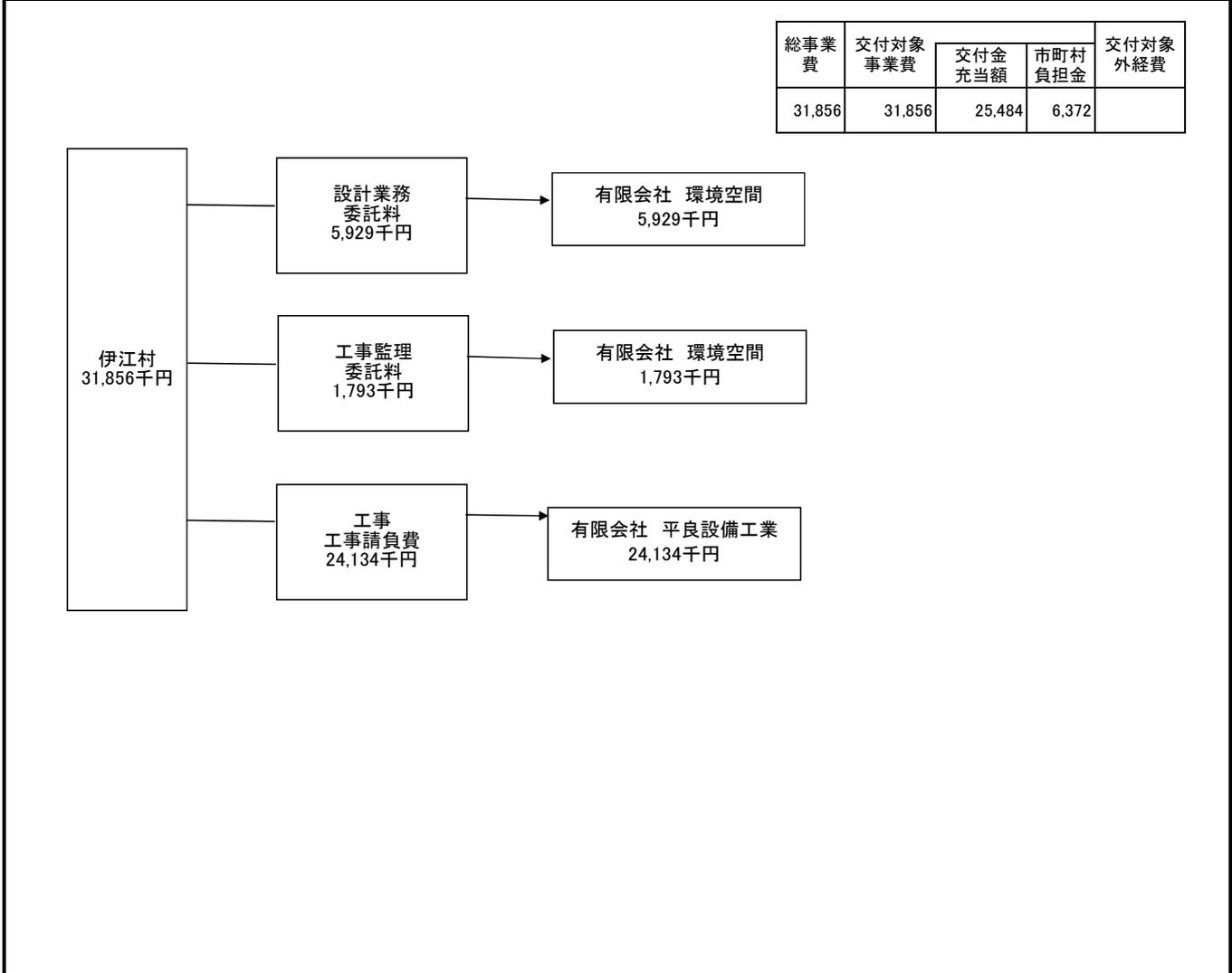
市町村名								
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-①	伊江島はにくすに施設防災機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	伊江村の玄関口であるはにくすに施設の防災設備の機能強化を行うことで、安心安全な施設環境の整備及び観光振興を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額					30,519	
		(b) 予算現額					30,519	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額					0	
	A. 計(b+d)		0	0	0	0	30,519	
	B. 執行済額						31,856	
	うち交付金充当額						25,484	
	次年度繰越額						0	
	執行率(%) (B/A)						104.4%	
予算の状況の説明		当初の計画のとおり工事は滞りなく遂行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	・実施設計の実施完了 ・設備工事の実施完了		目標	()	()	()	(一式)	
			実績				一式	
	防犯カメラの設置		目標	()	()	()	(4基)	
			実績				4基	
達成状況説明	天井工事、火災報知器、煙探知機、非常灯等の更新、また新たな機能強化としてターミナル内に4基の防犯カメラを設置する事ができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(4年度)	
	整備した防災設備を活用した、防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業の在り方について検証する。		目標	()	(1)	(1)	(1)	(1)
			実績		1	1	0	
	・実施設計の実施完了 ・設備工事の実施完了		目標	()	()	()	(実施)	()
			実績				完了	
	進捗状況説明	毎年、観光事業所協力の元の避難訓練を実施しているが、今年度に関してはコロナウイルス感染症の影響により観光地の避難訓練は行っていない。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	整備した防災設備の設置による成果については、実際に災害が発生しない限り、検証ができないため、防災設備を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、村民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標とした。	防災設備の更新、新たな機能強化として防犯カメラを設置したことで港内の安全確保に寄与する事ができた。 防犯カメラの運用については、伊江村情報公開条例及び個人情報保護に関する条例に基づき捜査機関(警察、検察、裁判所等)、防災担当と連携を行い運用していく。

今後の取り組み方針

整備した防災設備を活用した、防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業の在り方について検証する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 用途の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は一般競争入札より選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残は減額し、不用額もないことから予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	伊江村屋内体育施設機能強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-(イ)			
担当部署名	伊江村教育委員会	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
事業内容	体育施設の備品購入による機能強化を行うことで、スポーツ合宿の誘致を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			令和3年度				
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	61,820				
		B. 執行済額	52,580				
		うち交付金充当額	▲ 9,240				
		次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	52,580	98.8%				
	予算の状況の説明	予算の範囲内で適正な事業執行ができた。					
	活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
		備品購入	目標	(備品購入完了)	()	()	()
			実績	備品購入完了			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		合宿誘致にを進めるうえでのトレーニング機器やその他備品の購入や機器の設置までスムーズに行えた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	備品購入完了	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】 スポーツ合宿誘致件数6件	目標	()	()	(6件)	()	()
		実績					
	進捗状況説明	令和3年度に備品購入し設置を完了した。令和4年度はスポーツ合宿の誘致に取り組み村の活性化を図る。					

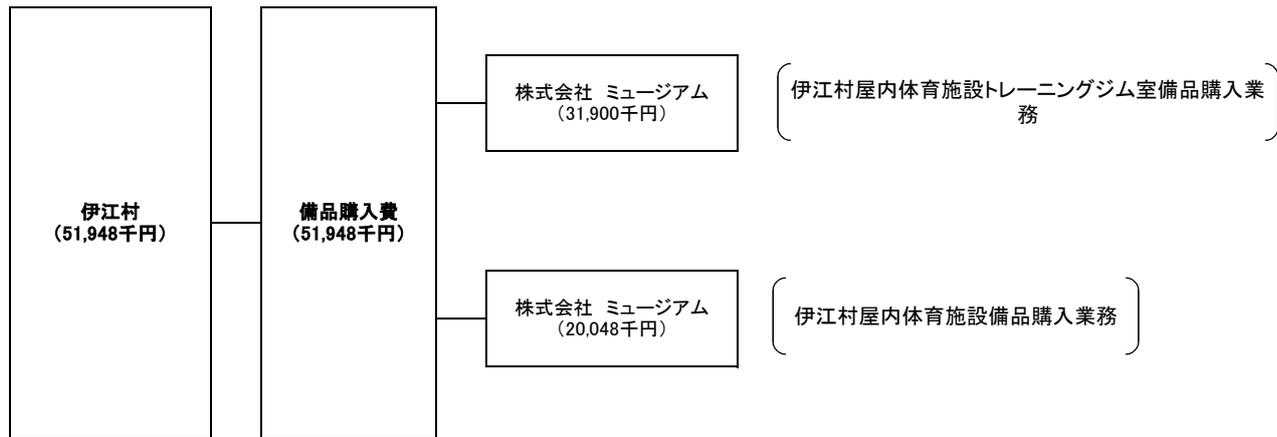
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>高校生のスポーツ合宿からトップアスリートの合宿に対応できるように購入する器具等を有識者と協議を行った。また、合宿を行った方の意見等を取り入れ実際に使用する選手の要望も取り入れて購入備品の選定を行った。今後は合宿の誘致を行い団体の施設使用を増やす。</p>	<p>合宿時期が重複する可能性があるため、スケジュール管理を徹底する。</p>

今後の取り組み方針

今後スポーツ合宿誘致への戦略として、施設の充実を村外へ発進しスポーツ合宿の件数を増やす。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
51,948	51,948	41,557	10,391	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、全ての事業を執行しており、適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○「伊江村体育施設の設置及び管理に関する条例」にて、施設利用料を明記し、受益者(施設利用者)が負担している。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	伊江村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	伊江村墓地団地造成事業	沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア			
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和3年度	沖繩振興基本方針該当箇所	地域特性に応じた生活基盤の整備 Ⅲ-12		
事業内容	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、伊江村墓地団地造成実施設計を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,290	0	0	0	7,000
			7,290	0	0	0	7,000
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	7,290				6,994
		うち交付金充当額	5,832				5,595
		次年度繰越額					0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.9%
		予算の状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	伊江村墓地団地造成実施設計	目標	()	()	()	(実施設計実施)	
		実績				実施設計実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当初予定になかった、基準点測量(2点)やCBR試験(3カ所)など追加業務もありましたが、スムーズに業務が遂行され、造成工事に必要な設計図書・計算書・設計書の作成ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(5年度)	
	伊江村墓地団地造成実施設計	目標	()	()	()	(実施設計完了)	()
		実績				実施設計完了	
	【参考指標】 整備工事を行い個人墓の散在化を防止するため本墓地団地へ永代使用	目標	()	()	()	()	(5件)
		実績					
	進捗状況説明	個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、伊江村墓地団地造成に向けた実施設計が完了した。					

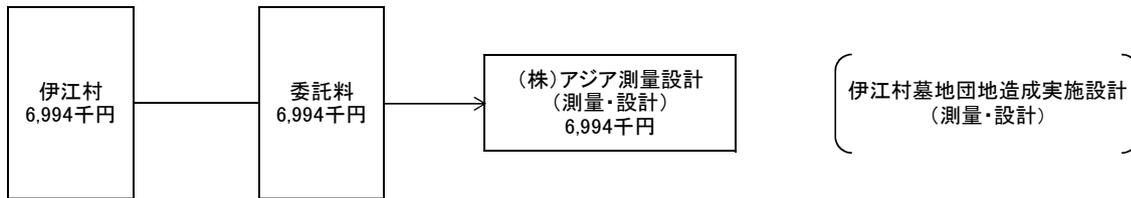
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化防止や平成29年度に行った伊江村墓地整備基本計画策定事業のアンケート調査による村民のニーズに応えるためにも伊江村墓地団地造成を推進したい。</p>	<p>用地面積が広いこともあり、設計金額も高額となっている。単年度での造成工事は多額になり厳しい。3工区程度での区画整備なども検討。</p>

今後の取り組み方針

事業費の配分や既存の墓地団地の残り区画数など考慮しながら、実施時期や事業期間、複数回での事業実施など慎重に協議し検討したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,994	6,994	5,595	1,399	



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法として事業実績のある業者を指名委員会で抽出し指名入札を執行していることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計書をもとに予定価格を設定し執行していることから妥当であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○業務後の検査において、書面及び現場確認検査を実施し、適正に事業を執行していると判断されたことから、事業目的に即した費目及び使途であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	伊江村歴史文化継承事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-(エ)		
担当部署名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流		
事業内容	「伊江島考察史」の印刷製本及び書籍刊行を行うことで、本村における歴史や文化の継承を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					17,029
		(b)予算現額					13,784
		(c)増減額(b-a)					▲3,245
		(d)繰越額					0
	A. 計(b+d)						13,784
	B. 執行済額						14,552
	うち交付金充当額						11,642
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)						105.6%
予算の状況の説明		・減額の要因は、印刷製本の入札残による減額、事務調整の回数減に伴う旅費の支出減によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	『伊是名牛助著「伊江島考察史」』の原稿執筆、印刷製本	目標	()	()	()	書籍刊行(300部) (100%)	
		実績				書籍刊行(300部) (100%)	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・書籍刊行により事業を達成することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	『伊是名牛助著「伊江島考察史」』の発刊	目標	()	()	()	(発刊)	()
		実績				発刊	
	【参考指標】 郷土地域資料利用者へのアンケート調査で本村の歴史・文化への理解が深まったかを含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	()	(調査実施)	(80%以上)
		実績				調査未実施	
	進捗状況説明	・書籍刊行により事業を達成することが出来た。 ・書籍刊行が令和3年度末となったため、アンケート調査を実施することができなかった。そのため、令和4年度にアンケート調査を実施する。					

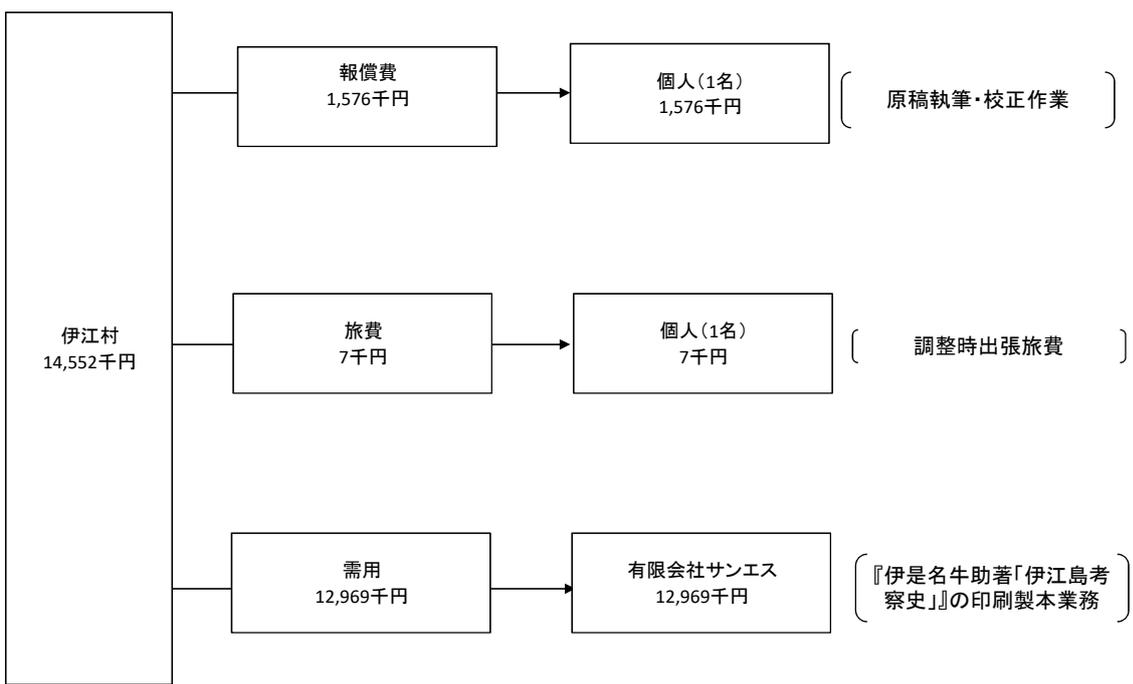
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルスの影響により、検討委員会を対面で行うことが困難であったため、紙面で実施するなどの対応を行った。</p>	<p>・校正作業等を当初オンライン環境で行っておらず、途中段階でオンラインを活用しつつ行った。今後事業実施の際には、オンラインの活用等より効率的な方法を取り入れる必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・刊行書籍を広く普及・活用してもらうため、村内自治会や学校、図書館だけではなく、県内の各市町村教育委員会や図書館、大学等へ配布を行う。
 ・刊行した書籍に関するアンケートを実施し、本村の歴史・文化への理解度を把握し、事業の検証を行う。
 ・本村の歴史・文化に対する理解を深めるための情報発信に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
14,552	14,552	11,642	2,910	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○印刷製本業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、全ての事業を執行しており、適正である。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	11-①	ICT支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-(ア)			
担当部署名	伊江村教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)			
事業内容	学校における教員のICT機器の活用を図るため、村内の小中学校にICT支援員を配置し、教師が授業でICT機器を活用した効果的な授業が行えるよう支援する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)						5,280	
							5,280	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	5,280	
	B. 執行済額						5,280	
	うち交付金充当額						4,224	
	次年度繰越額						0	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
	予算の状況の説明		適正に執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	村内3学校にICT支援員を1名配置する。	目標	()	()	()	()	(小中学校 1人)	
		実績					小中学校 1人	
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明	3学校への常駐日を設定し、ICT支援員の派遣を実施し、派遣日以外にもリモートサポートを行った(のべ対応回数297回)各種マニュアルの整備(計25種類)、オンライン授業のサポート、ネットワークや各種機器のトラブル発生時の切り分け対応や、代替機設置対応、AP新設、システム導入時のサポート等を実施した。また、実際にICT機器を授業で活用する際のサポートや研修会の開催を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)	目標	()	()	()	()	(80%)	()
		実績					小1~小3 87.8% 小4~中3 70% 平均 77.2%	
	・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	目標	()	()	()	()	(80%)	()
		実績					71.4%	
	進捗状況説明	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合77.2%、教員にアンケート実施し、ICT支援員の配置により、機器の習熟度が上がったと答えた割合が71.4%となった。 児童生徒に関しては、低学年の割合が高かったのに対して高学年から中学生の割合が目標には達しなかった。教員に関しては、既に使いこなしている教員が14.2%いることから目標に達しなかったが、今後も支援員のサポートが必要かの問いに対して85%の教員が必要と回答があった。						

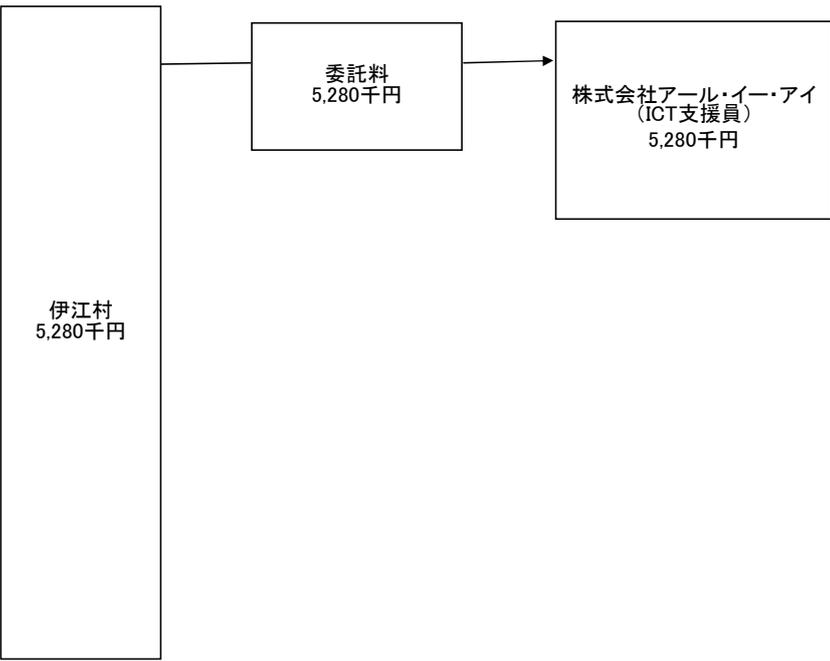
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒に関して、低学年は学習ははじめからICT機器を活用した授業が展開できたため、スムーズに展開できたが、高学年、中学生は途中からの導入でやや理解に時間を要した(従来の紙と黒板のニーズも少なからずあった) 教員に関しては、教員間でICT利活用に対する個人差がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒に対しては、引き続きICT機器の活用により、授業をわかりやすくする取り組みを行っていく。中学校に関しては、慣れの部分もあるが上昇できる取り組みが必要である。 教員に対しては、利活用が進んでる方にはより高度なサポートを行い、不慣れな方には手厚いサポートを行うなど、画一的なサポートではなく、個別最適化したサポートを行っていく。 コロナ等の影響で自宅学習となった際のクロムブックの活用。

今後の取り組み方針

- 教員との深いコミュニケーションを図っていくため、校内にICT支援員の常駐デスクの設置の検討をする。
- 授業に役立つソフトウェアの紹介や、業務効率化のためのアイデア等を提案を行い授業支援に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,280	5,280	4,224	1,056	



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 支出先は、実績、履行能力等を勘案し、プロポーザル方式で選定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保された。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・使途については、事業目的達成に必要な委託に充当し、限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-①	外国語指導員派遣事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-(ア)		
担当部署名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	幼稚園児や小学生の英語への興味・関心を高めるため、幼稚園と小学校に外国語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)						1,120
							1,120
			0	0	0	0	0
							0
		0	0	0	0	1,120	
	B. 執行済額					1,068	
	うち交付金充当額					854	
	次年度繰越額					0	
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.4%	
予算の状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		幼稚園・小学校に外国語指導員の配置	目標	()	()	()	(1名)
			実績				1名
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	学習支援員配置については、当初の予定通り配置し目標を達成することが出来た						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		目標	()	()	()	(80%以上)	()
		実績				96%	
		目標	()	()	()	()	()
	実績						
	進捗状況説明	毎年伊江村が各学校において実施しているJr.英検や英語検定において、3・4年生の令和2年度の受験率が20%程度に対し、令和3年度に関しては100%となっており、児童たちに英語への興味関心をもたせるという事業目標を達成していると考えられる。					

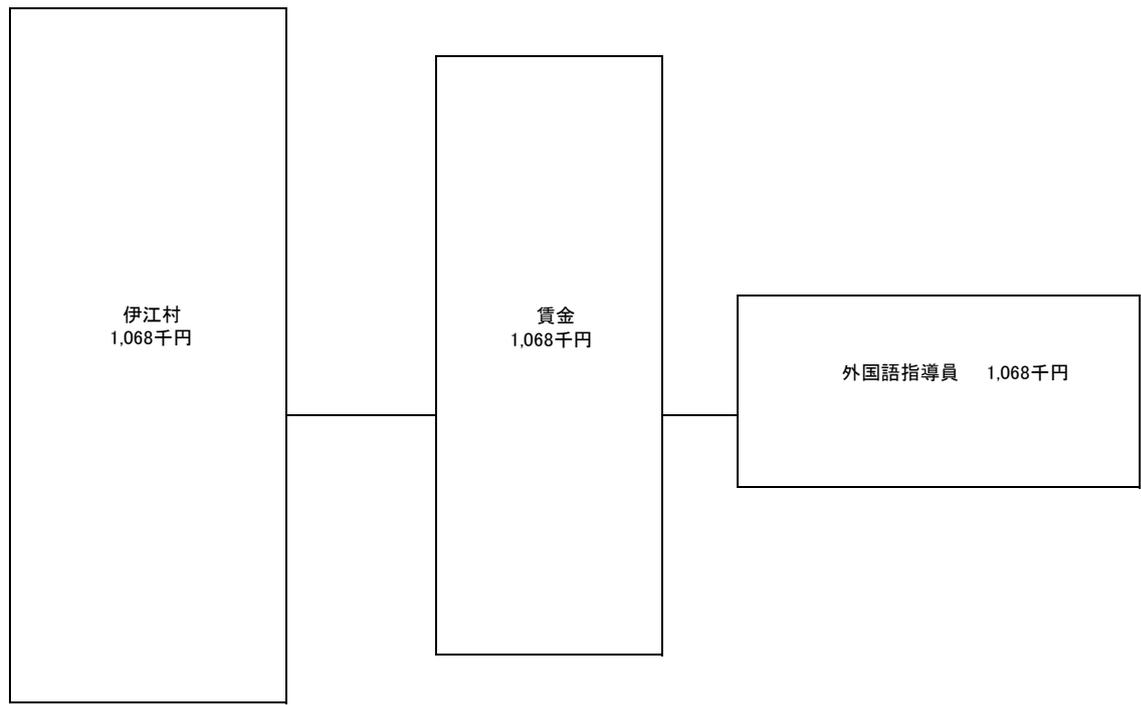
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響により、学校が休校となり授業が止まってしまうケースがあったため、今後はリモートなどの創意工夫が必要だと考える。	・小学校においては今後も児童の実態に即した授業展開を行い、困り感を感じている児童へは担任と外国語指導員が連携を図り英語への苦手意識減少へ努める

今後の取り組み方針

・同事業を継続して行っていくことで、村内の児童の英語への興味関心を引き上げることで国際的に活躍できるような人材へのきっかけ作りを図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,068	1,068	854	214	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、伊江村講師謝礼金等支払基準要綱等に基づき、技術的専門職の講習等の講師として適正に選定、任用しており妥当なものとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○すべての学校において、目標数の外国語指導員を配置することができ、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-①	伊江村防災体制機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-2-(4)-イ		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	沖縄県は、台風常襲地帯にあり本村においても台風等の自然災害時において、強風によって舞った飛散物によるガラス割れ等の被害が懸念されている。このことから、当該事業により公民館等の収容避難所施設の窓ガラスに飛散防止フィルム設置による防災機能の強化を図ることで、住民が安心して暮らせる環境整備を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)						8,000
							6,700
			0	0	0	0	▲ 1,300
			0	0	0	0	6,700
	B. 執行済額						7,393
	うち交付金充当額						5,914
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	110.3%
	予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な事業執行ができた。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	飛散防止フィルムの貼付	目標	()	()	()	(8公民館)	
		実績				8公民館	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	活動目標の8公民館すべてに整備がなされた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	飛散防止フィルムの貼付完了	目標	()	()	()	(8箇所)	()
		実績				8箇所	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	活動目標の8公民館すべてに整備がなされた。					

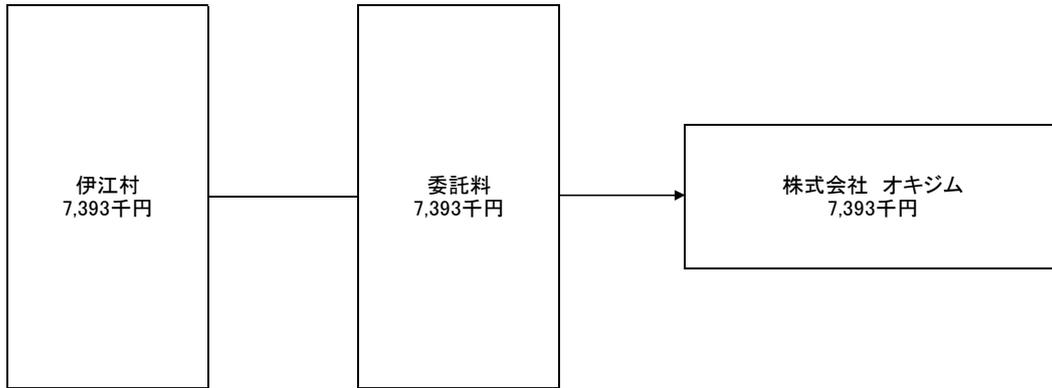
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	飛散防止フィルムを設置できたことは、台風等の自然災害に対し各施設の防災機能が強化されると考える。	今回は伊江村防災計画で設定されている避難収容所である8公民館に対し、飛散防止フィルムを設置したが、8公民館以外にも避難収容所として設定されている施設があるため、同様の対策が行えるよう、事業検討しながら取り組んでいく。

今後の取り組み方針

・今回設置した8公民館に対しては利用状況の把握や維持管理を行い、その他施設については、引き続き事業の検討・調査を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,393	7,393	5,914	1,479	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、全ての事業を執行しており、適正である。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	